

テーマ別パスファインダー



## 移民の社会統合



### ✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2013年6月19日  
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |  
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

## I. イントロダクション

### ＜ 移民の社会統合とは？

世界のグローバル化による人の移動の激化による外国人移住労働者の増加が背景となり、先進国をはじめとする移民の受け入れ国において、受け入れ社会と移民の双方が互いのアイデンティティや多様性を尊重しつつ、社会の構成員として共有文化を築いていくことを指します。移民の多くはある程度出身国の民族的・文化的・宗教的なアイデンティティを保持したまま、受け入れ社会の構成員として生活基盤を築いていきます。しかし、受け入れ国を取り巻く環境の変化に伴い、移民の待遇もそれに左右されてしまうことも少なくありません。受け入れ国の社会と移民の間に大きな溝が開いてしまい、移民が受け入れ国の中で閉鎖的なコミュニティを形成し、受け入れ社会とのかかわりを持たなくなります。このように受け入れ社会と移民が形成してしまう“平行社会”を改善し、社会の構成員として生活を送る移民をどのように統合していくかが、今日の移民にまつわる重要な課題であると言えます。

関係分野：社会学

## II. はじめて学ぶ人へ

### ＜ 内藤正典（2004）『ヨーロッパとイスラーム：共生は可能か』岩波書店

異なる価値観や文化が共生する可能性を考察している本。移民統合のために何が必要なのか、どのような政策が共生につながるのかをこの本を通じて学ぶことができます。【外国図-4 階新書 334.4||472】

### ＜ 野中恵子（2007）『ドイツの中のトルコ：移民社会の証言』拓殖書房新社

定住化している外国人問題の複雑さがよくわかる本。移民の生の声をもとに移民を取り巻く息が詰まるような環境が記述されています。【外国図-4 階開架 334.4||784】

※1993年発行の本は【外国図-4 階開架 316.83||62】にあります。

### ＜ 八谷まち子編（2007）『EU 拡大のフロンティア：トルコとの対話』信山社

以前活発に議論がなされていたトルコの EU 加盟問題に関する本。移民の社会統合からは少し話がそれますが、宗教的価値の違いにより難航する EU の加盟交渉を見ることで移民の社会統合の難しさを垣間見ることができます。【総合図-A 棟3階 学習用図書 329.37||HAC】

### ＜ 移住労働者と連帯する全国ネットワーク編（2009）『多民族・多文化共生社会のこれから NGO からの提言』

移民を支援する NGO が移民政策に対する提案をしている本。現場で移民の状況を見てきている NGO だからこそ知っている移民の実情・課題に対してどのような政策が今後必要になってくるのかを示唆してくれます。【総合図-A 棟3階 学習用図書 334.41||IJU】

### III. さらに研究を進めたい人へ

- ◀ **大阪大学言語社会学会編 (2011) 『Ex Oriente 「特集グローバル都市と移民統合政策」』  
大阪大学言語社会学会**  
地方自治体レベルで移民統合政策を行うフランクフルト市の取り組みを紹介している書誌。  
【外国図-雑誌 0||4||32】
  
- ◀ **近藤潤三 (2007) 『移民国としてのドイツ：社会と平行社会のゆくえ』 木鐸社**  
ドイツの移民に関する問題をほぼ網羅している本。ドイツが移民受け入れ国へ転換した社会的背景や法律の制定までの長い道のりについても詳しく勉強することができます。  
【外国図-4 階開架 334.4||562】
  
- ◀ **小林薫 『ドイツの移民政策における「統合の失敗」』**  
[http://www.desk.c.u-tokyo.ac.jp/download/es\\_8\\_Kobayashi.pdf](http://www.desk.c.u-tokyo.ac.jp/download/es_8_Kobayashi.pdf) (URL 最終閲覧日:2012年11月1日)  
ドイツにおける移民統合政策の問題点を明らかにしている論文。「統合の失敗の原因=移民の努力不足」というドイツの見解に批判し、受け入れ社会側がとるべき姿勢について言及しています。
  
- ◀ **矢野久 (2010) 『労働移民の社会史』 現代書館**  
ドイツが“移民受け入れ国”と化した歴史的経緯とその要因が理解できる本。近藤潤三著『移民国家としてのドイツ：社会と平行社会のゆくえ』の批評も盛り込まれているので、『労働移民の社会史』を読む際は、『移民国家としてのドイツ：社会と平行社会のゆくえ』も読むと、非常におもしろいです。  
【外国図-4 階開架 366.634||66】
  
- ◀ **Statistisches Bundesamt (ドイツ連邦統計局)**  
<https://www.destatis.de/DE/Startseite.html> (URL 最終閲覧:2012年10月30日)  
ドイツ連邦統計局のホームページ。ドイツ全体、各州の移民・難民などの数に関する統計を見ることができます。英語でも閲覧できます。
  
- ◀ **Bundesamt für Migration und Flüchtlinge (連邦移民難民庁)**  
<http://www.bamf.de/DE/Startseite/startseite-node.html> (URL 最終閲覧:2012年10月30日)  
ドイツ連邦移民難民庁のホームページ。移民や統合に関する資料がダウンロードできます。英語でも閲覧可能です。

## IV. ドイツ語が読める人へ

- ◀ **Ceri Fatma (2008) 『Die Bildungsbenachteiligung von Kindern mit Migrationshintergrund : welche Folgen hat der schulische Umgang mit sprachlichen Differenzen auf die Bildungschancen?』 Wiesbaden:VS Verl. für Sozialwiss**  
移民背景を持つ子どもの教育に焦点を当て、彼らの学力の低さの原因を探る本。  
【外国図 1 階書庫一般 372.34||58】
- ◀ **Frank-Olaf Radtke (2011) 『Kulturen sprechen nicht : Die Politik grenzüberschreitender Dialoge』 Hamburger Edition**  
「移民とその受け入れ社会との対立=文化の対立」という図式を批判している本。機能主義の考えを持ち出し、移民問題を文化の差異から生じる問題だと安易に片づける考えに対する反論は個人的にとっても新鮮でした。
- ◀ **Thilo Sarrazin (2010) 『Deutschland schafft sich ab:wie wir unser Land aufs Spiel setzen München Deutsche Verlags-Anstalt』**  
ドイツ国民に外国人に対する恐怖心・敵視感情を募らせた本。受け入れ国社会の側の外国人に対する不安要因を垣間見ることができるはずです。【外国図 1 階書庫一般 316.83||258】

### ✧ [パスファインダーの凡例]

- ◀ 図書の情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です)  
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

- ◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近 1~2 年に出版されたものは 3 階雑誌コーナー、バックナンバーは 1 階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

- ◀ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。
- ◀ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。